

夢・モモ・ゆう・機関車後援会だより

NO. 18 2007・9・20

赤松・後援会代表 逝去

「夢・モモ・ゆう・機関車後援会」呼びかけ人代表の赤松成明・元毎日新聞編集委員が8月19日午前0時31分、肝不全のため兵庫医大で逝去されました。葬儀・告別式は同21日、宝塚市内で厳かに営まれ、大勢の方々が参列、赤松さんとの別れを惜しみました。

2000年4月の後援会設立にご尽力いただき、当初より代表に就任。利用者の保護者との懇談会や入所式にも度々足を運んでくださいました。数年前より闘病生活を続けておられましたが、手術に成功、新聞社退職後の職場であった関西外国語大での仕事に復帰されたばかりでしたが、突然容態が急変しました。

私たちにとって大きな拠り所を失うことになりましたが、今後も重症心身障害者の地域生活支援を支える活動は続きます。会員の皆様には今後とも会へのご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

赤松さんは宮崎県出身。早稲田大政経学部を卒業後、毎日新聞社に入社。高知支局を振り出しに、広島支局長、神戸支局長、編集委員等を歴任され、同社退職後は関西外国語大において大学新聞の編集などに携わられました。

後援会事務局は新たな代表の選任作業を進め、決定次第、会員にお知らせします。



☆協賛企業一覧☆～代金の2～3%が後援会に寄付されます。ぜひご利用ください！

大手ツアー含む旅行全般は「**チューオーツーリスト**」0721-56-2170→担当：石丸さん

住宅新築・改修は「**吉岡建設**」0726-21-0021→担当：山本さん

リフト等の車両改造は「**ウェルビー**」072-228-2501→担当：田中さん

赤松さん、ありがとうございました。

～後援会事務局 大槻瑞文

「しばらくこんなもの食うことないだろうから」と連れて行かれたのが、神戸牛の高級ステーキ屋でした。福祉をしたい、退職したいと伝えたのが数日前。当時赤松さんは毎日新聞神戸支局長でした。目の前にはいい色に焼けた分厚い肉。ビール片手に「『辞めるな』なんて野暮なことは言わない。よく考えてのことだろうから。しっかりやれ」と励ましてくれます。そして、生活は大丈夫か、家族は養えるのか、そんなことを何度も心配くださる姿が可笑しくありました。

お酒が大好きな赤松さん。下戸の私はきっとつまらない部下だったと思います。生意気なことも言いました。その度、「まあ、そう言うな」といつもの渋みのある声で諭されました。

一般的に、上司の目には、社を去った者はどう映るのでしょうか。優しくできるのでしょうか。後援会の呼びかけ人を引き受けてくださったとき、「俺で役に立てるのなら」と二つ返事でした。西梅田の本社近くの居酒屋。仕方がないな…という感じだろうと思っていたら、何だかうれしそうなんです。冷えたビールがそうさせたのでしょうか、よく訪ねてくれたな…そんな風です。私の近況を尋ね、うんうんと何度もうなずきます。そしてまた空になったグラスにビールをついで…。会社にいるときはあくまで上司。それがなくなり、いつの間にか、一人の人生の先輩として接してくださっていました。

その後、施設利用者の保護者との懇談会、新しい通所者さんを迎える春の入所式などに何度となく足を運んでいただきました。後援会だよりも寄稿をお願いしました。それが、体調を崩されたと知ったのは、手術後のこと。最後にお声を聞いたのは今春、入所式の案内をさしあげた時でした。「健康、健康。抗がん剤を医大にまで打ちに行っているけどな。ガハハハ」と。いつもの調子にだまされました。それほど深刻ではないのだろうとお見舞いにも行かず。バカでした。

駆けつけた葬儀場。祭壇には、普通なら見かける果物などのお供えものが一切ありません。缶ビールが一本だけ。ああ、これで十分なのだ。赤松さんらしいなあ。あの世でも飲むのだろうか。最後のお別れ、その日発行の毎日新聞が一部、ご苦労様とねぎらうように亡がらの胸にそっと置かれていました。突然、涙があふれ出しました。一人の男性の人生が一部の新聞に凝縮されたようです。涙はどうにも止まりません。前が見えなくなり、お礼を言うべき赤松さんの姿もわかりません。「ありがとうございました」。そう声に出したときには、赤松さんはすっかり白い菊に包まれ、もう私の目の前からいなくなっていました。

ご継続ありがとうございました！ 会員継続の皆さん。敬称略

◇06年度継続 大井攝子 小橋博一 原田進 花岡洋二 高畑弘之

◇07年度継続 中島裕文 山崎圭三 山崎陽子 山崎正則 藤永淳二 有尾克ひ
こ 有尾かほる 藪内資子 藪内朝吉 飯野裕子 木村時計眼鏡店 山川瑠美 末次
貞子 大畑典子 光島由美子 堀政治 厨達夫 (有)真鍋工作所 山地はるみ 岡田啓
子 西村英八郎 泉谷美千子 服部祐子 堅田順一 安藤まゆみ 谷川泰治 松本賢
志 今中正己 齊藤真弓 南大阪交通(株) 田中貞子 杉本マリ 岡力ネ子 井浪克己
武内計二 石田豪 山脇三知子 才オ夕整骨院 太田幸子 吉岡建設(株) 山本裕信
斎藤雅子 鈴木友康 織田嘉彦 織田浜江 東條克江 織田八郎 石田淑子 西野茂
万代義彦 石田公德 福田知恵子 岡田和子 谷川予枝子 前川裕子 大宮景子 中
野英一 石原郁子 堀本京子 三宝院川瀬良禅 乃一知子 南部謙二 服部祐子 藪
田一男 西川美幸 米津節子 朝倉裕子 大槻英夫 野田比奈 山地雄平 沢辺みか
よ 平田雅美 鈴木信哉 古田幸代 葛川香澄 畑まみ 榊原万友文 斎藤和子 遠田
容子 小林久子 常松清吉 田辺佐千子 福田六夫 福田正人 福田純二 出野美佐
子 石川典子 山中富美男 岸桂子 永和信用金庫 浅井美和 中東妙子 (有)二フコ
松田敦子 鈴木友治 福島和子 池田峻 匿名希望 東田幸雄 小林裕子 田端悦子
濱崎幹雄 濱崎道子 中恵美子 今里政義 宮部秀和 宮部智勢子 平井毅 土井裕
子 長嶺博代 浜名深雪 河合裕美 根田由美子 奥野温子 平井義丸 有岡有子 小
西孝子 橋田龍志 井浪洋夫 木村隆克 木村朋毅 森下美津子 浅井義行 山田正
雄 富田俊哉 森公子 有尾則彦 山口留美子 開村信雄 南里泰博 荒木節子 村山
真知子 吉田肇 廣本三枝子 永野明秀 山之内増男 梁英子 山口敦子 前堂則子
堀田治美 高畑弘之 小橋博一 津田育男 勝山裕子 親泊太助 井木真知 殖栗美
和子 吉見基子 岩本和美 花岡洋二 酒井伸子 筒井恵美子 長沼奈緒子 山成嘉
代子 田辺隆子 野口貞子 岸田泰子 陳任徹 江上輝明 太田晴美

ご支援をお願いします！ 新会員の皆さん。敬称略

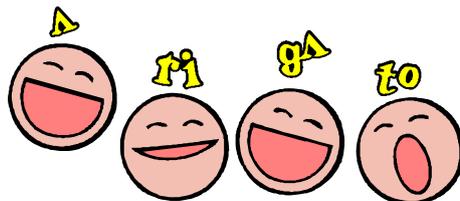
富士ゼック大阪(株) 村山繁樹 原田百合子 奥井光司 鈴木アリサ 松平華代 南部
由加里 尾谷富美子 藤永芳子 遠田順子 松代伊佐子 太田隼弘

ご寄付・寄贈いただきました！ 敬称略

利川慶子 木村明 岸田泰子

退会。長年ありがとうございました！ 敬称略

北川幸造 吉井寿



利用者宅でコンサート♪



♪利用者の自宅にミュージシャンを派遣するホームコンサート事業が始まりました。利用者の誕生日やご両親の結婚記念日などに演奏家が自宅を訪問、目の前で生演奏を贈り、お祝いしようとの企画です。

♪これまでに5回のコンサートを開催しました。事前に思い出の曲などリクエストをお聞きしての演奏です。発病した頃に流行っていたアニメソング、お母さんがご出身の沖縄の歌などが流れます。



♪企画を説明させていただいた当初は「自宅でコンサートなんて…」と躊躇していた保護者の方々も、演奏終了後は、「こんな演奏を自分たちだけで楽しめるなんて」と感激した面持ち。

♪一方、演奏者も「このような距離で演奏するのは初めて」と初めは緊張気味ですが、演奏後に何気ない会話を保護者とするうちに打ち解け、「素晴らしい経験でした」とこれまた好評です。

主催は「特定非営利活動法人W・I・N・G-路をはこぶ」です。



【後援会よびかけ人】

犬伏一人（読売新聞記者） 羽柴修（弁護士）

富田佳志（朝日新聞記者） 小西威史（月刊誌「ソトコト」編集部） 堀内正美（俳優）

増田耕一（毎日新聞新規事業開発室長） 松本賢志（時事通信記者）

山沖之彦（プロ野球解説者） 梁英子（ヤン・ヨンジャ 弁護士）

発行：「夢飛行・モモの家・ゆうのゆう・機関車」後援会 郵便振替口座 00900-4-157766

E-mail info@yourwing.org 年会費 1口 3000 円(個人) 10000 円(団体)

〒557-0042 大阪市西成区岸里東1の5の25

「特定非営利活動法人 W・I・N・G-路をはこぶ」内 Tel. 06-6656-1280

後援会ホームページ <http://www.h7.dion.ne.jp/~yumekoi>(夢来い)

法人ホームページ <http://www.yourwing.org>